

大内 利夫 常務取締役
営業本部長

特別インタビュー

化粧品OEM大手の東洋ビューティ(本社大阪府、瀧見良平社長、☎06-6241-2121)は、創業76年にわたって成長を続けてきた。今年1月には経団連(日本経済団体連合会)への入会も果たした。同社の目指すところは「100年繁栄し続ける企業」。その目標を達成するべく、人材育成や設備投資、BCP(事業継続計画)の策定にも、たゆまず取り組んでいる。同社の大内利夫常務取締役営業本部長に話を聞いた。



「100年繁栄する企業」を志向

なることを志向している。今がよければよいと

し続ける企業」は実現できな

本人教師が、その後の6カ月間は外国人教師が、

モバイル機器も一人一台支給。作業効率は大きく

作業環境・衛生環境の拡充に向けた投資も随時行

点体制を整備している。製造だけでなく、研究開

ツフに、入社3年

目、5年

業スタッフを中心に、受

講者が広がっている。今

も、作業環境の改善とい

う狙いがある。

た、それ

ぞれのタ

速させていく中で、何か

のきっかけになればよい

と考えている。

に合った

研修機会

を提供

員が持つ力を最大限発

揮できる環境づくりを

も、力を入れて取り組ん

でいる。例えば3年前に

いう考えではなく、長期

的に安定して成長を遂げ

ていけるよう、仕組みづ

くりを進めている。

「100年繁栄し

続ける企業」に向けて、

どのようなくに力を注

いでいるか。

大内 一つは人材育成

だ。個々の人材の成長な

くして、「100年繁栄

た。最初の6カ月間は日

さらに昨年から、英会

話教室も開始、希望者は、

無料で英会話のレッスン

を受けられるようにし

うになっただけでなく、

従業員の福利厚生・

えた投資を行っていくこ

とが不可欠だ。新工場の

竣工となると、数十億円

の規模になるが、そうい

った特別なタイミング以

外でも、毎年数億円単位

の設備投資を行ってい

る。生産設備の拡充や設

備の新規導入・入れ替え

といったことだけでなく、

迷惑をおかけするため、

BCP上問題がある。そ

ここで当社では、栃木県に

宇都宮工場、三重県に上

野工場を構え、東西2拠

点からの取り組みにも、

大きな力を注いでいる。

生産などを一つの拠点に

集中させることは、天災

など万が一の事態が発生

したときにお客さまにご

迷惑をおかけするため、

お客さまとの約束や、

お客さまからの信頼を決

企画開発から製品まで、お客様の化粧品づくりをトータルにサポート
信頼と実績のある化粧品・医薬部外品の受託専門メーカー



工場 上野(三重)/宇都宮 東西二拠点の研究開発及び生産体制 研究所 大阪/宇都宮

東洋ビューティ株式会社

<http://www.toyobeauty.co.jp/>

本社 〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号 大阪御堂筋ビル4F
Tel. 06-6241-2121 Fax. 06-6241-2125

東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目16番11号 日本橋セントラルスクエア6F
Tel. 03-3548-2991 Fax. 03-3548-2996